

永平寺キャンパスにて 普通救命講習会 I を開催しました。



修了テストに合格すると受講証明書のページに進みます。当日は、証明書の提示が必要です。



永平寺町消防本部予防課の
ヤベさん(左)とタキザワさん(右)



受講者は1体ずつ人形を使用しました。

受講者の声

- ・ コロナの影響により、3月の上級救命講習会が中止となったために今回受講した(複数の学生)
- ・ 運動系サークル所属のため参加しておいたほうがよいと思い参加した
- ・ 教員から受講しておくのとよいと勧められた
- ・ 知識として知っておいたほうが良いと思い受講した

普通救命講習とは、各地の消防署や消防本部で行われる**応急処置の技能講習**。公益財団法人などが主催し、応急手当の普及啓発の推進を目的に全国各地で開かれています。年間約100万人が受講する人気の高い公的資格です。

普通救命講習には「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の3種類あり、もっとも一般的で多くの講習が開催されているのが「普通救命講習Ⅰ」です。

「普通救命講習Ⅰ」では、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方など、主に成人を対象にした救命処置のほか、気道異物除去や止血法などの応急手当について学びます。自宅でインターネットを利用して学習すると(左上)、講習時間を実技のみの120分に短縮できます(従来の普通救命講習Ⅰは180分です)

今回は、この事前学習を受けた学生18名が参加しました。



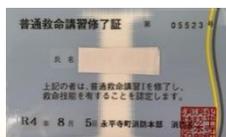
「倒れた人を発見！」から「AED準備を指示する」までを行いました。



会場を回り、アドバイスする講師のヤベさん

暑さと感染対策

- ・ 感染予防対策として出入り口および窓を全開としたが、外気温がかなり高く、冷房は強にもかかわらず、皆、汗が流れ講師も大変そうであった。
- ・ 会場の広さと受講者20名は、周知の人との十分な間隔を確保でき適切であった。
- ・ 事前に約1時間のWEB講習を受講し修了テストも終えているので、当日の講習会を2時間に短縮でき、効率的であると感じた。WEB講習は大変わかりやすい。



後日、修了証が届きました。